

産業団体 2

(農業者・漁業者)

2021.02.05 午後3時～午後4時30分
保健センター

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
1	経営維持	農業者関係者	<p>【農家経営の現状について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的な米の消費量が減になっている。この影響により、米価低迷が予想されることを危惧している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生産の目安」として国から各町に米の生産数量（面積）が示され、令和3年度については、当町の農業者の作付予定面積は生産の目安以内となっており、米価下落の要因となる過剰な作付けにはならない見込み。 主食用米からのシフトとして、国では加工用米や飼料用米などの主食用米以外への支援策も示されており、当町においても加工用米への支援に取り組んでいる。 引き続き制度の動向を注視し、地域農業再生協議会において情報提供を続けていく。 	/	産業振興課
2	経営維持	農業者関係者	<p>【農業経営助成について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小豆がコロナの影響により、値下がりしている上、売れ行きも悪い。このことに対して種の購入や土壌改良剤などの助成を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 江差町産地生産力総合支援事業にて、種苗については、地域振興作物の拡大と地域ブランドの定着化を目的に、アスパラ・ブロッコリー・高設栽培イチゴの種苗購入費用の一部を補助している。 土壌改良剤については、作物を限定せず土壌改良剤の購入費用を補助しており、広く農業者から申請を受けている。 	/	産業振興課

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
3	経営維持	農業関係者	<p>【農業経営について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1の米価低迷について、過剰作付けにならないから心配しないでくださいという回答だったが、個人が作付け面積を守っても、内地の方で作付面積を守らず、過剰に作付けし、販売することにより、レートが下がるというのが今までのパターンであり、江差町全体や北海道全体が作付け面積を守っても、内地の影響から、レートが下がると思う。 2、3日前の農業新聞でも、3,000円以上下がると書いていた。農業者にとって、3,000円は大きく、全体の1割5分くらい収入が下がる。 江差町の農家のほとんどが経営のメインが米なので、その減収分をほかの作物で補うのも難しい。 ほかのセーフティーネットなどの保険もあるが、その内容も9割程度なので、今の段階から、農家のモチベーションが落ちてしまっている。 モチベーションも、他の作物で補うことができれば、少しはモチベーションを保てるが今回は、保つこと自体難しい状況になっている。 去年の販売額は、前年の販売額から見るとそんなに落ちてはいないが、米の消費動向は、1年遅れで出てくるので、今年は間違いなくレートが下がると思われる。 花き農家応援プロジェクトは、去年4月5月に価格が半値くらいまで落ちた時に対策をとってもらったが、去年1年間で花のトータル販売額を見ても3割以上落ちている。6月以降は、価格が高くないが盛り返した状態が続いている。しかし、4月5月の価格が落ちた際に花農家のモチベーションが下がり、あきらめて、花の作付け自体減らしている状況となっていた。 農家全体のモチベーションも同じような状況になっているので、起爆剤となる対策を実施してほしい。 	<p>農家でモチベーションや作付け意欲が落ちていることをどのように支えていけるか、後押しをできるを考えていきたい。</p>		産業振興課
4	経営維持	農業関係者	<p>【花農家の状況について】 (町長質問①に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 春先は、去年と変わらない面積で作付けを予定しているが、それ以降は、傾向を見て部会の人や農協と話をしながら考えていく予定としているが、本当にわからない部分が多い。 	<p>【町長質問①】 花農家に関して、令和3年も作付面積を減したり、抑えるという傾向は続きそうか。</p>		
5	経営維持	農業関係者	<p>【経営維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米以外の小豆・大豆がどこまで値下がりしてしまうのか、見通しが立たない状況で、作付面積を減らしたり、ほかの作物に少しずつ変えていければ良いが、それもなかなか難しく、一気に変えることもできない。 先ほど農協理事が言ったように農家のモチベーションをどのように上げるのか、今時点ではわからない状況になっている。 			
6	経営維持	農業関係者	<p>【経営維持について】 (町長質問②に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小豆、黒豆、そばに関しては、観光客が減っていることから需要が減っている。 	<p>【町長質問②】 いろいろな影響があると思うが、それがコロナに起因しているのか。</p>		

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
7	経営維持	農業関係者	【経営維持について】 (町長質問③に対する回答) ・ 1年を通しての流れがあるので大きくは変えることはできない。	【町長質問③】 ・ 作付けの面積について、大きく変える予定はあるのか。		
8	経営維持			・ 4, 5, 6, 7の話の踏まえ、どのような後押しができるのか、いろいろな状況を踏まえ、皆さんの悩みや不安を行政でも共有しながら、手立てを考えていきたい。		
9	経営維持	農業関係者	【経営維持について】 ・ 小豆等作物の値段下落に伴い、年齢が高い人は離農も考えるのではないかと心配している。			
10	経営維持	農業関係者	【経営維持について】 (町長質問④に対する回答) ・ いつ出てもおかしくはない状況になっている。 ・ コロナとは関係なく毎年、1軒か2軒は離農者は出ている。	【町長質問④】 ・ 周りにコロナを機に離農を考えている人の話を聞いているか。		
11	経営維持			・ 特に小豆について心配が大きいということだったが、そのことも含め国からくる第3次交付金の事業の中に、農業支援を柱の1つとして、どのような手立てが必要かということを検討し、皆さんの声を反映できるように制度設計をしたい。		産業振興課
12	経営維持	漁業関係者	【漁業の現状について】 ・ 漁業に関しても、農業と一緒に価格の先が読めない。	・ 農業漁業共通しているが、良いものは、高く買ってもらえるところに供給するという考えが、収入につながると思う。 ・ 地産地消の考え方も、現在のコロナ禍の状況を考えると付加価値を付けても買ってもらえるところが厳しい状況である。		
13	経営維持	漁業関係者	【漁業者の現状について】 ・ 居酒屋などの店舗休業の影響を受け、価格が下落している状況は否めないが、漁をしないで生活はできないので、漁に出るのは変わらない。	・ 地域での消費方法、地域の人に喜んでもらえるような、環境づくりをしていかなくてはならないと考える。		
14	経営維持	漁業関係者	【経営維持について】 ・ 漁で獲れたものは、町内流通が主となっているが、中には、付加価値を付けて近くのレストランなどに卸している。 コロナ禍で、観光客が減ってしまっている状況により、販売等がない状況なので、いくら漁をしても卸先がなく、先が読めず大変な状況になってくると思う。	・ それによって、生産者の収入にもつながる環境をつくらなければならないと思う。 ・ その一つが、軽トラ市のような事業であると思うが、軽トラ市は、その物をそのまま売るといった形であり、それだけではなく違う方策もないのかと思う。やはり海の物であると、調理等を加えたもので販売するというような方法もあるがその環境をどのように整えられるのかという課題はある。		
15	経営維持	漁業関係者	【経営維持について】 ・ 今の漁は、ナマコとサクラマス程度になっている。 ・ 個人売りとして、売っている店も客相手の販売なので、客が入らないと買ってもらえないため、今後、コロナ禍でどのようなものが、どれくらい消費されるのか不安がある。 ・ 活神経締めなど宣伝してもらいながら行っているが、それについても消費量が大きく影響し、値段の格差が大きくなっている状況で、安定化というのは難しい。 ・ 2月からナマコの潜水漁も始まっており、檜山海参というブランド化を進めた関係で値段もそんなに落ちていない状況ではあるが、ナマコも消費量の関係で先行き不安な状況は変わらない。 ・ そのような中で、町内消費の事業を展開してもらえれば、輸送コスト等を抑えながら販売できると考えている。 ・ 江差町内で、町内漁師が獲っている魚がどれだけ消費されているのか見えない部分がある。			

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
16	経営維持	漁業関係者	<p>【経営維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナマコ漁は、2月1日から解禁になったが、おそらく14日までは、海の状況により潜水漁ができない状況になる。 ・ また、タコは、多少の状況でも漁はできるので、今の値段を漁協に確認したところ、380円程度まで落ちており、最近ない値段まで下落している。その状況の中、タコ漁に燃料消費して、30kgや40kgを獲ってきて、燃料代と採算が取れない状況になっている。 ・ そのようなことを考えると、生産物を養定しながら獲ることやつくるというのは難しいと思う。 ・ 漁師も、先が見えずモチベーションが下がる状況になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先行き不透明で、終わりが見えない中での戦いだということのでかなりの負担があると思う。 		
17	経営維持	漁業関係者	<p>【経営維持について】 (町長質問⑤に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 量の保証はできないが、価格は昨年より微増になっている。しかし、2月1日～2月20日までの間で荷揚げしなければ、潜水部会のメンバーはその月給料がない状況となる。 	<p>【町長質問⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナマコはあまり悪くない状況なのか。 		
18	経営維持	漁業関係者	<p>【漁業経営支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響で魚の値段が安くなるのは否めないと思うが、出漁は変わらず出る。 ・ 燃料費について、変わらずかかるものなので心配がある。燃料もコロナの影響で下がるということはないので、燃料費の支援をすることにより、ある程度負担が軽減できる。 			産業振興課
19	経営維持	漁業関係者	<p>【漁業経営支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人のモチベーションが下がってしまうと漁業全体が踏ん張ることができなくなる。 ・ 江差の町の漁師は、出稼ぎなどは行かず、漁業のみで生計を立ててきた人が多いが、今回のような状況が長く続くと海ではなく他に働く場を求めてしまう。現状でも漁師の高年齢化により、明日にでもコロナの影響により漁業をやめようかと思っている人もいないとは限らない。 ・ 実際に江差の漁師もかなり減ってきており、五勝手の漁港の組合員も一番多い時は12～13人くらいいたが、現在6人の状況になっている。 ・ 漁業は、海に出漁するだけでなく、陸上の維持管理も必要であり、これ以上減ると漁業自体がままならない状況となるので、漁師が減るのは避けたい。 			
20	漁港管理	漁業関係者	<p>【漁港維持管理について】 (町長質問⑥に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なにか使えることがあれば、考えていかなくてはならないと思う。例えば、船のついていない場所に畜養するなども考えられると思う。 ・ 去年は、港で鮭の海中飼育を実施し、今年は、それが終わった段階で鮭を刺し網で取ることも考えている。 	<p>【町長質問⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上維持管理の漁港の使い方について、農業の部分は基盤整備で集約することで進めている。例えば漁港の使い方メリハリをつけて、有効活用するような道筋は考えられないか。 ・ そのようなことが少しずつ軌道に乗ると役割を大きくして、漁港の有効活用ができるかもしれない。 		

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
21	漁港管理	漁業関係者	<p>【漁港維持管理について】 (町長質問⑦に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁港の使い方が悪いからどこかに集約するという形になるのか、使い方をもっと良くしていく形のどちらかになると思うが、まだまだ、いろいろなことを考えていかなくてはならないと思う。 	<p>【町長質問⑦】</p> <ul style="list-style-type: none"> その他に障壁はあるのか。例えば、自分たちの近い漁港でやっていきたいという思いは強いのか。それとも漁港を集約して、有効活用に協力するという考えについて聞かせてもらいたい。 		
21	漁港管理	漁業関係者	<p>【漁港維持管理について】 (町長質問⑦に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> この問題は、一番大きな問題だと思う。漁業者が減ってきている、後継者がいなくなってきた状況で、江差の現状は、漁師の半分以上が年配者となっている中で、若い人が入ってこない状況なので、必然的に漁船の隻数が減って、使用量も減ってきてしまう。そのような状況の中でどのように漁港を守っていくのかということ考えた時には、閉鎖するのか、一つの港に集約するのかという形になってくると思う。これから、どのようにしていくのかというのが最大の問題だと思う。それらを考えるにしても基盤となるのは漁業者の生活水準によるのではないと思うが、この問題は、江差町だけではなく檜山全体や北海道全体の問題であると思う。 	<p>一次産業でも、しっかり子供を育てて、将来農家、漁師ということで生計が成り立つ生活水準にしなくては、この町の一次産業が及ぼすほかへの良い循環や影響が小さくなり、町全体の縮小に大きく拍車をかけてしまうので、何とかそのことに手を打ちたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのためにどういう手立てを打てばよいのか、一緒に考えながら行動していかなければならない時期に来ている。 		産業振興課
22	経営維持	漁業関係者	<p>【経営維持支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニシンについて、懇話会に来る前に漁協で聞いたところ、ニシンは揚がっている。メスは、良いのだがオスは、良くないという話を聞いた。町の支援事業として運用しているが、地産地消の部分で、去年が3トンの水揚げがあったり、群衆があったりとやっと兆しが見えてきたところではあるが、コロナの影響によりニシンの単価が下がってしまうのではないかと不安がある。 ニシンの地産地消をするのであれば、どのように手を加えどのように町内で消費してもらうのか考えていかなくてはならない。漁業でも手を加える余裕がないので、町職員を一人派遣できないか産業振興課に相談したりしている。 資源をつくるのに、物を入れる方法もあるが、物を獲って漁場をつくるという方法もあるのではないかと。 一番大事にしているのは浅海の動かない物の種をどのように増やし、維持できるかということ。資源を守るために獲って漁場をつくるということも考えてもらいたい。 			産業振興課
23	経営維持	漁業関係者	<p>【経営維持支援について】 (町長質問⑧に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、せたなでは、使わなくなった港を仕切って餌をまき、畜養するなど行っている。 	<p>【町長質問⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、ウニをストックする設備は、どのようなものがあるのか。 		
24	経営維持	漁業関係者	<p>【経営維持支援について】 (町長質問⑨に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ウニには、ウニに適した場所が必要なので、餌となる藻の生えるようなものが必要になってくる。 生け簀は駄目で、天然の場所で水の流れが良いところでなくては駄目だと思う。 	<p>【町長質問⑨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備はわかったのですが、そのような場所はありますか。 		

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
25	経営維持 漁港管理			<ul style="list-style-type: none"> 経営維持や資源を守るための漁業について意見をもらった。 やはり安い時に供給するよりも、価格が良い時に供給できる状況が皆さんにとっても良いと思う。 実施するためにどのような課題があるのかということも踏まえ、次の一手を考えさせてもらいたい。 		産業振興課
26	ふるさと 納税 返礼品			<p>【町長からのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> その他町より、農業者、漁業者の皆さんにふるさと納税について協力をお願いしたい。 江差町は、頑張っても寄附額の増につながっていない状況であり、多くの物を全国の皆さんに選んでもらえるような売り出し方をしていきたいので、生産者の皆さんの協力が必要だと思っている。 令和2年度は、おそらく6千万円くらいであり、令和3年度は、目標額の1億円を目指したいと思っている。 以前は、漁業者の協力により天然のアワビを返礼品にしたが、漁のタイミングと合わなかったこともあるので、もう一度仕組みを考えながら、付加価値の高いもの、プレミアム感のあるものを提供できるように協力願いたい。 		
27	ふるさと 納税 返礼品	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> 例えば神経締めしたヒラメなどどこまで手を加えたら、返礼品として使えるのかなどを整理して、示してもらった方が動きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> どこまで手を加えれば良いのかのことが、皆さんの負担を考えると、そのまま生で出せるような物で考えた方が良いのではないかと。 できる範囲の関係については、町がどのくらい出してはくれではなく、漁業者の出せる分で良いという考えなので協力をお願いしたい。 		
28	ふるさと 納税 返礼品	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> 安定して、供給することができれば良いが、安定して供給できないような状況であれば難しい。 以前に考えたときは、できる範囲でできればよかったのだが、できる範囲を超えている状況だったので難しい状況になった。 			
29	ふるさと 納税 返礼品		<ul style="list-style-type: none"> 前回も同じで、それができない状況だった。 			
30	ふるさと 納税 返礼品	漁業関係者	<p>【ふるさと納税返礼品について】 (町長質問⑩に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の時化などにより漁に出れなかったこと、時化が治まってきたらアワビが減ってきたという状況でできなかった。 	<p>【町長質問⑩】</p> <ul style="list-style-type: none"> できない原因は何だったのか。 		
31	ふるさと 納税 返礼品			<ul style="list-style-type: none"> 無理をしてというわけではなく、令和3年は、できる範囲で良いので協力してほしいので相談させてもらいたい。 農業者の皆さんについても、協力できるところを相談させてもらいたい。 		まちづくり 推進課

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
32	経営維持	農業関係者	<p>【経営維持について】 (町長質問⑩に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな挑戦は、無人トラクターの整備を去年1台行った。無人といっても、人は乗っていないのは駄目なものではある。しかし、無人トラクターにしても、今行っている基盤整備事業が完了しなければ効力を発揮できない。 <p>(町長質問⑪に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> すぐに100%使いこなせるものではないので、今から少しずつ練習し、徐々に慣れなくてはいけないので今から利用している。 	<p>【町長質問⑩】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業者で新たな挑戦として、実施していることはないか。 <p>【町長質問⑪】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無人トラクターについて、すでに活用しているのか。 		
33	経営維持	農業関係者	<p>【経営維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基盤整備事業の受益者負担について、過去の昭和50年代の受益者負担の残債を土地改良区に償還しているのだが、ほかの町に比べると高額で、他の町の人に「江差の受益者負担2万円を超えているというのはほんとか」と聞かれ、「3万円くらいだ」と話すのが驚かれ恥ずかしい思いをしていることから、今回の基盤整備事業の受益者負担については考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基盤整備事業の受益者負担の負担率については、2～3か月のうちに皆さんに、示せるように進めている。 土地改良区の賦課金の助成も含めて、農業者への支援を検討していきたい。 		産業振興課
34	経営維持	農業関係者	<p>【経営維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業者から話のあった、燃料代の関係なのだが、農業者にとっての燃料代は何になるのかと考えたときに、土地改良区の賦課金になると考えた。どうしても田んぼに水を張るなど必要なことなので、下げようがないものであり、その部分を助成してもらえれば助かる。 			産業振興課
35	農業・漁業経営連携	漁業関係者	<p>【農業漁業連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ一次産業ではあるがはっきり漁師、農家と分かれている部分が多すぎるにより接点が少なかった。どこで接点を持てるのか考えたら、ふるさと納税などでコラボができる体制づくりやその他でも接点を作る役割を町などが行うことにより、接点が生まれ、漁業農業でどのような問題があつて、どのように解決していけるか、どのように地域産業を進められるのかということをお話合えるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 接点について、町としてもっと提供できるようにしたい。 今日は、男性ばかりではあるが、女性たちの交流も考えていきたい。 		産業振興課
36	ふるさと納税返礼品	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> みらい機構で、農産物と海産物をセットで販売しているが、あれはふるさと納税の返礼品ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物と海産物のセットは、ネット販売の品物なのだが、ふるさと納税の返礼品と同じものだと思う。 		
37	ふるさと納税返礼品	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> みらい機構で、1年を通して漁業、農業でとれるものを整理し、組み合わせを考えて販売してはどうかと話したことはあるが、なかなか前に進むような感じではなかった。 その組み合わせを考えると、他の町に負けないものは持っていると思うが、PRの仕方があまり良くないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税についても、これだけ用意しなければならぬということはなく、1つから販売でき融通は利くもの。 みらい機構で販売しているものとふるさと納税の返礼品について連動していないことは申し訳ない。 今回の意見を踏まえ、皆さんに相談したいと思うので協力をお願いします。 一次産業について、しっかり役場としても経営維持できるような体制を整えたい。まだまだ、課題は多いが、町と漁業者、農業者の皆さんも一緒になって行動する覚悟を持たなければならないと考えている。 		
38	ふるさと納税返礼品	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> サクラマスにしても、一匹を品物とするとさばけない人もいるので、少し手を加えることにより、買ってもらえるものになると思う。 			まちづくり推進課

No	項目	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会開催終了後の対応状況	担当課
39	経営維持	漁業関係者	<ul style="list-style-type: none"> これからの担い手のことも考えて磯廻りを、農業の基盤整備と同じように整備していかななくてはならないので、見直しをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 磯廻りも大事だと思うので、資源管理、持続可能な漁のあり方なども含めて、皆さんと考えていきたい。 		振興課 産業課